

令和5年市長と語る！ふれあいミーティング

会場：吾野地区行政センター

日時：令和5年5月10日（水）午後7時～

《会場での主なご意見等》

【ご意見①】

福祉の視点から吾野の現状についてお話したい。ここで旧吾野小学校のトイレの洋式化を行うとのことだが、台風19号の避難所では旧吾野小学校は一部のトイレ等が使えなかった。高齢化が進んでいる地域の防災について、よく考えていただきたい。吾野地区はハザードマップ上も警戒地域等が多数あり、特に豪雨災害が心配である。お年寄りや避難所での生活が続くと、自立が困難になる場合が多い。台風19号の被災当時、避難所に車いすが1台しかなく、不足していた。休む場所もブルーシートを敷いているだけであり、横になると体が痛いので、我慢しきれず、やむなく帰宅を選択する方もいた。段ボールベットやマット等の避難時の備えを充実してほしい。吾野地区は一人暮らしの老人も多い。安心して避難できる避難場所を作ってほしい。防災という発想だけでなく、防災プラス福祉という考え方が大切だと思う。各避難所に福祉関係者・医療関係者等が巡回する体制をつくる。市では、防災に関する観点での数字等の把握はされているが、実際の避難の実態を福祉の視点での経験が蓄積されていないと思う。また、防災に関し社会福祉協議会も福祉の観点から市と連携し、双方で福祉の視点を入れた防災対策について議論する場を作ってほしい。

【回答】

最近の激甚災害が頻繁に起きている状況をみますと、避難所の確保は重要であると認識しております。また、福祉的な視点での避難所の運営については必要であると思えます。避難所としてあるべき最低限の施設について、順次整備を進めているところでございます。ご提言いただきました、安心して避難していただける避難所の対応につきましては、市だけではなく地域の方々との協議をさせていただきより良いものにしていきたいと考えます。

【ご意見②】

台風19号で崩壊した、地域内高麗川沿い市道の路肩の整備を、当時危機管理室へ対応を求めたが回答に1週間ほどかかり、最初は県の管轄であるため、県に報告を行うと言われた。1年後に対応がされていないので状況を再度確認したところ、今度は市の管轄地域とのことであった。その後、更に対応がされないため、今年3月に道路公園課に確認したところ、ようやく路肩注意という杭4本が打たれた。約3年半が経過して実質何も対応していただけていない。早急に対応してほしい。

【回答】

内容について確認させていただきます。

【ご意見③】

私が住む自治会は、高齢化が進み、現在高齢化率が54%～55%であり、2、3年後には約60%になる。そのような現状で、自治会が合併した結果、自治会の地域範囲が4倍近くになった。市民清掃は地域で無理のない範囲でとのことだが、清掃範囲は1.5キロ～2キロの範囲で70代・80代の人に住んでいるので、地域だけでは難しい。また、ゴミの集積所も鳥獣被害の側面があるので、整備などに補助をお願いしたい。

【回答】

市としてどのようなことができるのか検討させていただきます。

【ご意見④】

倒壊家屋が1軒ある。放置してもよいという雰囲気が出る前に対処をお願いしたい。

【回答】

倒壊家屋の件につきましては、その所有者にまずはお願いするのが先になります。年数が相当経過しているということですので、どなたが所有しているのか調べて、所有者にたどり着ければいいのですが。確認いたします。

【ご意見⑤】

吾野・東吾野地域の歯医者が廃業した。高齢化による免許返納で足がない人が増える中、歯医者へ行くためには市街地か日高市に行くしかない。東吾野医療介護センター付近に歯科医を設置してほしい。

【回答】

歯医者の新設につきまして、医師会等の関係もございますので、市として何ができるのか検討させていただきます。

【ご意見⑥】

飯能斎場において火葬を行うのに7日から10日かかる。飯能斎場の火葬可能件数は一日11件とのこと。近隣市として秩父市は一日12件、越生町は12件、川越は18件とのこと。飯能市の火葬受付時間が14時30分までで、越生町、所沢市等は15時まで、秩父市は15時30分までで本市に比べて長いので1件多いと思う。火葬にかかる日数が伸びると経済的・精神的・環境負荷がかかるので、火葬受付時間を延ばして、火葬待機日数を減らしてほしい。

【回答】

飯能斎場につきましては、声をいくつかいただいております。建設当初からだいぶ年数が経過し、斎場、炉自体が相当傷んでおり、現状ではその点を考慮して運用していると聞いております。

現在、飯能斎場は建て替えの方針を出しておりますので、建替えができれば若干解消されると思います。

【ご意見⑦】

清掃デーなどで国道299号線沿いを掃除していると、車の約9割は横断歩道を歩行者が渡ろうとしても止まらない。市として注意喚起等をしていただき、事故防止の配慮をお願いしたい。

【回答】

横断歩道での車の不停止は、運転手のモラルの問題ではありますが、交通安全の注意喚起の看板等が設置できるか、警察等と協議したいと思います。

【ご意見⑧】

たすけあい吾野という組織に、全ての吾野の住民が入っている。活動内容としては高齢者、子どもの居場所づくり、買い物などの移動業務等が中心であったが、今後は未来の子ども達へどのように地域を残せるかを考えている。旧吾野小学校の利活用についてはわせがく夢育高等学校のように一棟貸しできるとよいと思うが、現実的には大きな施設は管理費がかかるので、一棟貸しは難しいと思うので、部分貸しの検討も必要だと思う。廃校から5年が経過し、施設の劣化が進んでいる。吾野地区は移住者が増えている。地域のシンボルとして、旧吾野小学校の有効活用をよく考えてほしい。我々も行政にお願いするだけでなく、地域の人たちが中心となり、行政と一緒にどうにかしていこうと思っている。地域の体育祭を行うなどの一時的な利用はあるが、水道設備は常に使用していないとダメになってしまう。部分貸しでもよいので、常に使ってもらえる、災害時でも使えるようにしてほしい。地域を盛り上げるためにも旧吾野小学校の利活用について、市長の考えを改めて聞きたい。

【回答】

これまでは、一部を民間業者へお貸しするという話もありましたが白紙になりました。その後、地域として使い道について考えていこうということになりました。昨年、市として災害時の避難所として使えるようにトイレや浄化槽の整備を行いました。本格的な跡地利用につきましては、前々から考えておりますが、吾野地区の皆様、自治会の皆様のお考えもあるかと思しますので、それらを踏まえ、改めて一緒に検討していきたいと思っております。

【ご意見⑨】

現在、旧吾野小学校の前から7名の子供たちが毎朝、元気に登校している。地域の方には子どもたちの見守りをしていただき感謝している。旧吾野小学校の校舎の前に大きな時計があるのだが、その時計が2週間くらい前から止まってしまった。子どもたちは毎朝その時計を見ながらバスがそろそろ来るから準備しようとしている。旧吾野小学校の時計が止まっているので直していただきたい。

【回答】

早速調査させていただき、対応させていただきます。

【ご意見⑩】

南川の市道について、名栗に行く道は県道で手入れされているが、秩父に行く道は市道で手入れがされてないので、手入れをお願いしたい。

【回答】

現地を確認し、精査させていただき、対応について協議させていただきます

【ご意見⑪】

学校給食について、地元産の野菜やお米で給食を提供できるとよいと思う。そのために献立作成者、生産者、農協、農業振興課で協議会を作ってほしい。外国産の小麦は農薬などの悪影響もあると聞くので、国産の小麦で給食を作ってほしい。農業生産者との調整、給食はセンター方式にもなっているので、学校給食の協議会を作って、地域の作物を使った安全な給食づくりをお願いしたい。

【回答】

食育という面からのご提案だと思います。検討したいと思います。

【ご意見⑫】

奥武蔵小学校は今年で開校5年目になる。新入生も10名入学し、生徒数77名。区外から通学している生徒は9名いる。そのような中で、安心して子どもが通学できるのは地域の方々のお陰である。開校5周年の記念行事を行う予定である。奥武蔵小学校は本当に自然豊かな環境にあり、子どもたちも伸び伸び、生き生きと学校の方で学んでいる。これからも地域の学校として住民から親しまれるように、学校、PTAも協力して頑張っていきたいと思う。前地区行政センター所長および現地区行政センター所長にも大変お世話になっている。今後とも地域をよろしくお願いしたい。

【回答】

ありがとうございます。

【ご意見⑬】

旧吾野小学校について、日頃の管理をどのようにしているのか。全国にも同じ閉校学校の利活用について、色々事例があると思う。例えば、市の職員1名ないし2名を専任して、方針を決めてほしい。

【回答】

日常の管理について、毎日管理している訳にはいきません。台風が接近し、避難所として開設する必要が迫っている状況になれば、水の確認ですとかトイレの確認ですとかそういったことはしっかりやらせていただいております。利活用の関係ですが、どういう風に使用していったらいいのか、この辺については市も当然ですが、是非、地元の皆様が見解を出し合って、皆様が使いやすい、皆様がこういったものを求めているのか、今年度中に話し合いをさせていただければと考えております。

【ご意見⑭】

買い物難民解消のため、ワゴン車での買い物支援事業の運営が地域で始まり11年が経過した。ドライバーはボランティアであり、高齢化が進み、担い手も6人から3人に減少した。ボランティア募集をしてもなかなか集まらないが、利用者は増える一方。ボランティア自身も高齢で、安全な運転や製品の運搬が難しくなっている。ボランティアで賄うには限界がきている。飯能市乗合ワゴンが吾野地区にも対応できないか検討してほしい。

【回答】

当地区につきましては、公共交通をカバーするべく、地域において「らくだ号」をいち早く取り組んでいただきましたことに深く感謝しております。地域の実情は理解しております。中藤・中沢地区や加治地区等で行っている飯能市乗合ワゴンで対応できるかどうか、それが適しているのかも含めて検討したいと思います。

【ご意見⑮】

全国で民生委員の担い手不足が起きている。飯能市も同様な状況であり、吾野地区でも欠員が出ている。次の担い手を探すのに個人や地元だけでは困難になってきており、町内会、社会福祉協議会、行政等と連携して次の担い手を確保する仕組みについて考えてほしい。

【回答】

確かに、今、後任を探すというのは、かなり労力が必要でなかなか受け手がないのが実情です。私自身も民生委員の後任探しの支援を行った経験があります。今、言われました組織を作って、次期に備えることも必要だと思います。どんな形で解消できるのか行政だけではなく自治会連合会を含めて関係各所と協議させていただければと思います。